

氏名	高木 航
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6110 号
学位授与の日付	令和 2 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Circulating adipocyte fatty acid-binding protein is a predictor of cardiovascular events in patients with stable angina undergoing percutaneous coronary intervention (血中脂肪酸結合タンパクは PCI を受けた安定狭心症患者の心血管イベントの予測因子となる)
論文審査委員	教授 成瀬恵治 教授 大塚文男 准教授 小谷恭弘

学位論文内容の要旨

脂肪細胞由来脂肪酸結合蛋白 (A-FABP) は細胞内に存在する低分子量の脂質結合タンパクの一つであり、代謝や炎症において重要な役割を果たす。また、我々は以前に冠動脈プラーク量と血中 A-FABP 値が正相関することを報告した。本研究では安定狭心症患者における血中 A-FABP 値が将来の心血管事故 (心血管死、心筋梗塞、脳卒中、冠血行再建、入院を必要とする心不全) と関連するかを検討した。経皮的冠動脈血行再建術を受けた安定狭心症患者 130 人を対象とし、中央値で 50 か月追跡したところ 49 人に心血管事故が認められた。血中 A-FABP 値の中央値で全体を二群に分けると、血中 A-FABP 高値群で心血管事故の発生が有意に多く、そのハザード比は 1.03 (95%信頼区間 1.01-1.04, $p=0.01$)であった。以上より、血中 A-FABP 値は安定狭心症患者の心血管事故発生における独立した予測因子であることが示された。

論文審査結果の要旨

脂肪細胞由来脂肪酸結合蛋白 (A-FABP) は細胞内に存在する低分子量の脂質結合タンパクの一つであり、代謝や炎症において重要な役割を果たす。本研究では安定狭心症患者における血中 A-FABP 値が将来の心血管事故 (心血管死、心筋梗塞、脳卒中、冠血行再建、入院を必要とする心不全) と関連するかを検討した。経皮的冠動脈血行再建術を受けた安定狭心症患者 130 人を対象とし、中央値で 50 か月追跡したところ 49 人に心血管事故が認められた。血中 A-FABP 値の中央値で全体を二群に分けると、血中 A-FABP 高値群で心血管事故の発生が有意に多く、そのハザード比は 1.03 であった。血中 A-FABP 値は安定狭心症患者の心血管事故発生における独立した予測因子であることを示した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。